

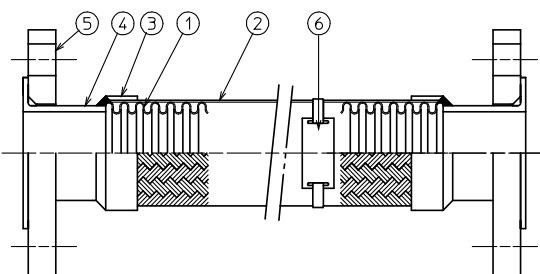
ブレードホース 施工要領書

ZA-10 危険物施設用可撓管継手・消防法危第20号型式評定品



施工手順

1. 作業前の確認



ZA-10の形状

表1 部品表

品番	部品名	材質
1	ベローズ	SUS304
2	ブレード	SUS304
3	ブレード止リング	SUS304
4	ラップジョイント	SUS304
5	ルーズフランジ	SS400
6	表示板	A1100P

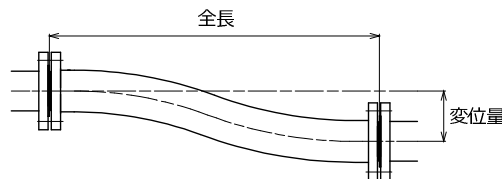
※口径によって形状が異なります。

施工前に次の事項についてご確認下さい。

- 口径、長さが適正か
- シール面に損傷が無いか

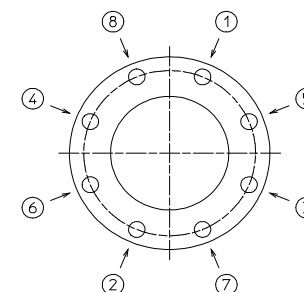
2. 配管への取り付け

- ① ガasketをシール面からずらさないように、また、シール面を傷つけないよう製品を配管フランジ間にセットして下さい。
※全面gasketを推奨します。
- ② 製品側から配管側へ向かって、ボルトを挿入して下さい。
- ③ 実際の配管変位が許容変位量内であることを確認して下さい。



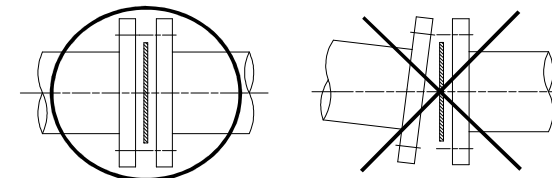
3. ボルトの締め付け

ボルト締め付け順



- ① ボルトは対角線に均等に締め付けて下さい
- ② 反対側のフランジも同様に締め付けて下さい
- ③ SUS製ボルト・ナットを使用する場合は、ねじ部に焼付け防止剤を塗布して下さい

⚠ フランジ面が平行である事を確認の上、締め付けて下さい。

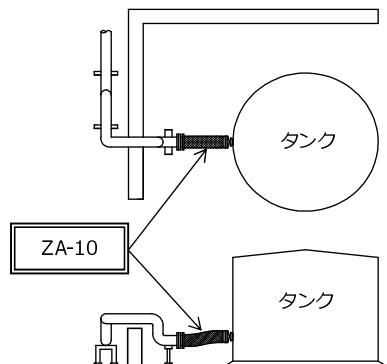


取付ボルト長さ

口径	取付ボルト長さ
40A~100A	M16×65mm
125A	M20×75mm
150A~200A	M20×80mm
250A~300A	M22×85mm

平座金、ばね座金なしの場合

設置例



⚠ 注意事項

- 本製品は、オイルタンクと配管との結合部分が地震等により損傷を受けるのを防止するための措置として使用する継手です。
- 配管内の圧力が著しく変動する恐れのある箇所には設置しないで下さい。
- フレキ前後の配管には十分な固定支持を行って下さい。
- 配管の溶接作業は、フレキ取り付け前に施工して下さい。
やむを得ず製品取り付け後に溶接や溶断をする場合は、溶接電流が流れないように、適正なアースをとり、製品に保護カバーを被せて下さい。
- 管内流速（内径基準）が3m/secを超えない様に口径を選定して下さい。
- 本製品を含む配管系統が密閉回路の場合、気温上昇等により流体であるオイルが体積膨張し内圧が異常上昇することがあります。製品破損の原因となりますので、この様な場合には安全弁を設置するなどの対策を講じて下さい。